

# 日本ヘンデル協会 レクチャー・コンサート



## ヘンデル:オペラ《ロデリンダ》をめぐって

今秋 11月 28日(金)・30(日)に北とぴあ国際音楽祭 2025 のメインイベントとして、ヘンデルのオペラ《ロデリンダ》が上演されます。ハノーヴァー選帝侯から英国王となったジョージ1世の治下で始まったオペラ・カンパニー『国王音楽アカデミー』でヘンデルは「オーケストラ楽長」として歌手の獲得と演奏の責任者となり、やがて作曲家の筆頭格へと昇って行きます。《ロデリンダ》は1724年のヒット作《ジュリオ・チェーザレ(ジュリアス・シーザー)》の翌年 1725年に初演され、大きな成功を収めました。中世ロングバルドで王位を追われ国外に逃避していたベルタリード王の帰還を待つ貞淑な王妃ロデリンダの物語。

このレクチャー・コンサートでは、《ロデリンダ》がどんな台本によって、どんな背景で作曲・上演されたか、またその音楽の魅力について生演奏をまじえながら紹介します。演奏は、バロック・ジェスチャーなど当時の様式を取り入れたスタイルで行ないます。

※ なお、当レクチャー・コンサートは音楽祭と連携して行ないますが、内容は本公演とは別に  
日本ヘンデル協会が企画するもので、解釈や演出、演奏様式などは本公演とは異なります。

### ♠ 講演 ♠

諏訪 紗子（日本ヘンデル協会会員、音楽学。《ロデリンダ》対訳・字幕担当）

### 台本から見た《ロデリンダ》

三ヶ尻 正（日本ヘンデル協会会員、音楽学。《ロデリンダ》解説担当）

### 歴史と政治の中の《ロデリンダ》

原 雅巳（日本ヘンデル協会会員、音楽監督。声楽＆バロック・ジェスチャー）

### 《ロデリンダ》の見どころ・聴きどころ

♣ 演奏 ♣ ・・・日本ヘンデル協会のメンバーによる

### 《ロデリンダ》の名場面から



小倉 麻矢(ソプラノ)



新田 壮人(カウンターテナー) 望月 忠親(バリトン)/伊藤 明子(鍵盤楽器)



『ヘンデル オペラ対訳集  
第1集』(当日も販売)  
に  
対訳と解説を収録

2025年 11月 15日(土) 14:00 開演 13:30 開場

北とぴあ スカイホール (14階) (JR京浜東北線・東京メトロ南北線「王子」駅 徒歩2分)

全席自由 一般 ¥3,000

割引 ¥2,000 日本ヘンデル協会会員、東京都北区民が対象

北区民割引：東京都北区にお住まいの方は割引価格で購入できます(web・窓口合わせてお一人様4枚まで)。  
取扱いは北とぴあチケットオンライン(要事前登録)・北とぴあ 1階チケット売場のみ。  
窓口では北区在住を確認できるもの(免許証、保険証など)をご提示ください。

チケット：ほくとぴあチケットオンライン <https://p-ticket.jp/kitabunka> (右のQRコードもご利用下さい)

北とぴあ1階チケット売場 (窓口のみ/10:00~20:00 臨時休館日は 18:00まで、全館休館日は休業)

※ 未就学児の入場はお断りしております

※ 車椅子でご来場されるお客様はチケット購入後、事前に

北区文化振興財団 03-5390-1221(平日 9:00~17:00)へご連絡ください。

7/8(火)  
発売

主催：日本ヘンデル協会 / 共催：(公財) 北区文化振興財団・東京都北区

問合せ：日本ヘンデル協会 E-mail: [office@handel-institute-japan.org](mailto:office@handel-institute-japan.org) / 080-3359-7527

<http://www.handel-institute-japan.org>

